



2020年10月

- [Cisco DNA Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [今回のリリースでの新機能 \(3 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(3 ページ\)](#)
- [不具合 \(5 ページ\)](#)

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco DNA Spaces は、既存のワイヤレスに加え、Internet of Things (IoT) および Bluetooth Low Energy (BLE) インフラストラクチャを活用して、Cisco DNA Spaces に組み込まれたアプリケーションを通じて実用的な知見を提供し、ビジネスの成果を促進する強力なロケーションサービスプラットフォームです。

この知見には次のものが含まれます。

- **位置分析**：時間や位置によるロケーションデータのスライスとダイスをを行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now**：物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数（Wi-Fi に接続されているデバイスで識別）、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供するレポート。Right Now レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを1人の訪問者に属するものとしてカウントできます。
- **Business Insights**：人々がお客様の物理ロケーションに訪れる頻度と、それらのロケーションに滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。
- **影響分析**：ネットワークに接続しているユーザーの行動に対する、特定の場所でのイベント、キャンペーン、レイアウト変更の影響を測定する機能を提供します。Cisco DNA Spaces アプリケーションを使用して簡単に [Event] を作成し、次の項目に基づいてその影響を測定できます。
 - 滞留時間
 - **Before、After、During** などの特定のタイムラインでの頻度

Cisco DNA Spaces アプリケーションには、キャプティブポータル、ロケーションペルソナ、エンゲージメントなどのカスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、物理的な場所にいる顧客とリアルタイムでつながることができます。また、その他のアプリケーションとして、**Asset Tracking** アプリ、IoT サービス (BLE) を管理および設定するためのサービスマネージャ、さらにはこのデータを抽出して他のエンタープライズシステムとの関連付けまたは統合を行うためのオープン API フレームワークもあります。

Cisco DNA Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーとインテリジェンスを通じて、これらの複数のサービスを利用するための単一のダッシュボードインターフェイスを提供します。Cisco DNA Spaces を使用すると、物理的なビジネス拠点で訪問者につながり、連携することもできます。ワークスペース、小売、製造、ホスピタリティ、ヘルスケア、教育、金融サービスなど、さまざまな業界で使用されています。Cisco DNA Spaces のアセットトラッキングアプリケーションは、オンプレミスのアセットを監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco DNA Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

パートナープログラムを通じて Cisco DNA Spaces を使用すると、さまざまな業界のあらゆるパートナーアプリケーションに企業がアクセスできます。

Cisco DNA Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

記載されているサービスに加えて、Cisco DNA Spaces アプリの範囲は、世界的なパンデミックである COVID-19 によって生じるビジネス要件を満たすために拡張されました。拡張機能は既存のアプリケーションに基づいて構築されており、COVID-19 の特定の要件を満たすために新しいアプリケーションが追加されています。Impact Analytics、Location Analytics、行動メトリクス、Right Now などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネス拠点に及ぼす COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、特定の場所のデバイス密度に基づくルールを作成し、その場所の人数が特定の数または密度（エリアあたりの人数）を超えた場合に自動的に通知を受けられるようになりました。Location Analytics アプリには、エグゼクティブ サマリー レポートを組織内の同僚と共有する機能が追加されました。さらに、**行動メトリクス** アプリを使用して、個人またはグループのロケーションに関する COVID-19 ベースの傾向分析を実行できるようになりました。これにより、特定のビジネスロケーションを組織全体と比較したり、特定の業界と比較したりすることもできます。

Cisco DNA Spaces の Proximity Reporting アプリでは、影響を受けるデバイスの位置履歴やデバイス近接履歴をすばやく確認できます。ユーザー ID または MAC アドレスに基づいて、過去 14 日間の建物内におけるデバイスの位置に関するレポートが、他のデバイスとの近接度とともに生成されます。このレポートは、共有機能を使用してエクスポートまたは共有することもできます。同様に、検出と位置特定アプリには、デバイスを特定の数にクラスタ化して、ソーシャルディスタンスのガイドラインに違反している可能性のある領域を確認して報告する機能が追加されました。

セットアップや構成を含む、Cisco DNA Spaces の詳細については、『[Cisco DNA Spaces Configuration Guide](#)』を参照してください。

今回のリリースでの新機能

Right Now

次の機能が Right Now アプリに導入されています。

- プレゼンスチャート：[Presence Trend] は、[Cumulative Visitors] チャートに置き換えられました。[Presence Trend] チャートは 10 分ごとにプロットされ、ロケーションの占有制限に基づいたロケーションの容量を示します。ロケーションの占有制限は、[Location Hierarchy] から設定されます。
- SSID の除外：[Settings] メニューから、訪問者数の処理から特定の SSID を除外できるようになりました。

このリリースでの変更点

マップサービス

[Location Hierarchy] とインポートされたマップデータとの同期を維持するために、[Map Service] に対して次の機能強化が加えられました。

- Cisco Prime Infrastructure または Cisco DNA Center からエクスポートされ、[Map Service] を使用して Cisco DNA Spaces にインポートされたマップは、[Location Hierarchy] に自動的に表示されます。
- [Location Hierarchy] からロケーションを削除すると、[Map Service] から削除されます。
- AP インポート制限は、Cisco DNA Spaces アカウントの AP ライセンス制限に基づいて導入されています。



- (注) ロケーションにマップがある場合は、マップベースのロケーション階層を作成します。ただし、[WLC Direct] > [AP prefix]、[CMX On-Prem Auto-Sync]、または [CMX Manual Upload] を使用してロケーション階層をすでに作成しており、重複する AP を含むマップをインポートしている場合、AP はマップベースの階層に移動されます。

[Map Service] からロケーションを削除すると、対応するアクセスポイントのみが [Location Hierarchy] から削除されます。

ダッシュボード

ホームページおよび [Location Hierarchy]#unique_179 unique_179_Connect_42_loc-hier の下の Cisco DNA Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

- Cisco DNA Spaces ホームページの拡張機能は次のとおりです。

- [Detect and Locate] : 追跡されたデバイスの数が [Detect and Locate] アプリタイトルに表示されるようになりました。
- [Proximity Reporting] : 作成されたプロキシミティレポートの数が、[Proximity Reporting] アプリタイトルに表示されます。
- [Location Hierarchy] には、Cisco Prime Infrastructure または Cisco DNA Center からインポートされたマップで定義されている階層構造が自動的に反映されます。この機能強化をサポートするために、次の変更が加えられました。
 - [Dashboard] では、[Location Hierarchy] > [Add Wireless Networks] で、[CMX On-Prem] または [WLC Direct Connect] > [Import from Maps] を使用して、ロケーションのインポートが制限されます。
 - [Dashboard] では、次の方法を使用して、キャンパス、ビルディング、フロアなどのロケーションのみをロケーション階層に選択的にインポートすることを可能にしています。
 - AP ゾーンの追加
 - ビルディングの追加
 - キャンパスの追加
 - CMX ゾーンの追加
 - フロアの追加



(注) キャンパス、ビルディング、フロアなどのロケーションが [Location Hierarchy] から削除された場合、以前にアップロードしたマップを [Map Service] > [Maps Upload] を使用してアップロードすることにより、[Location Hierarchy] に追加し直すことができます。

ロケーション分析

[Location Analytics] で、[Without SSID] フィルタがレポートから削除されます。

行動メトリクス

次のチャートが、ワークスペース分野の [Behavior Metrics] の下に追加されました。これらのチャートは、グループビューとロケーションビューの両方に表示されます。

- [Workday Duration Distribution] : このチャートは、従業員が職場で費やした時間を訪問の割合として表示します。
- [Employee Frequency Distribution] : このチャートは、従業員ごとの職場への訪問回数を示しています。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、x は任意の文字（a～z）、N は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

Cisco Bug Search Tool（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の注意事項

ここでは、Cisco DNA Spaces のこのリリースにおける未解決の不具合を示します。これまでのリリースで未解決で、まだ解決されていない不具合は、修正されるまで、今後のすべてのリリースに適用されます。

表 1: Cisco DNA Spaces の未解決の不具合

| 不具合の識別子 | 不具合の説明 |
|------------|--|
| CSCvs79627 | Meraki カメラ：ユーザーはカメラ以外のデバイスもインポートできる |
| CSCvt93539 | [Right Now] > [Visits by floor] セクションでは、フロア名がチャートの X 軸に表示されない。 |
| CSCvu78949 | ロケーション名に余分なスペースがあると、ロケーション階層にロケーションをインポートできない |
| CSCvu98859 | 新しい構成を適用すると、[Button Click] データや [Movement] データなどのテレメトリが 18 時間以上にリセットされる |
| CSCvv16880 | ゲートウェイの展開ワークフロー中に、タイミングの問題により、AP が「needs config mode（設定モードが必要）」として誤って分類されることがある。 |

| 不具合の識別子 | 不具合の説明 |
|------------|--|
| CSCvv28936 | [Detect & Locate] で、Kontakt BLE デバイスをフィルタリングするオプションを提供する。 |
| CSCvv34216 | コネクタが HA ペアで再起動すると、ControllerChannel と APChannel がコネクタ間で分割される |
| CSCvv60285 | ブラウザでページを更新すると、[Home] ページのアクティブな AP リンクが非表示になる |
| CSCvv64362 | カスタム AP グループの GRPC とアプリホストを自動有効にするオプションを提供する |
| CSCvv74806 | [IOT Device Marketplace] アプリアイコンが、[Switch Apps] メニューに壊れた画像として表示される。 |
| CSCvv74810 | 読み取り専用の Cisco DNA spaces ユーザーがダッシュボードにログインすると、[Integrations] ハンバーガーリンクが表示されない。 |
| CSCvv91424 | [Density Rule Reports] の最近のアクティビティでは、504 エラーが原因で使用可能なデータが表示されない |
| CSCvv91536 | [Density Rule Reports] : Capacity が [Recent Activity] セクションで [capacity] と間違っ綴られている |
| CSCvw18656 | [Map Service] : ユーザーが複数のマップファイルをアップロードしてもアップロードが失敗しない |

解決済みの問題

ここでは、Cisco DNA Spaces のこのリリースで解決されたバグを示します。

表 2: Cisco DNA Spaces で解決された不具合

| 不具合の識別子 | 不具合の説明 |
|------------|--|
| CSCvv56842 | Cisco Prime Infrastructure からのマップ生成用に AP9117 BLE アンテナ PID のサポートを追加 |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。